日本 NPO 学会第 13 期理事会 第 7 回理事会議事録

I. 開催日時：2025 年 5 月 22 日（月）18：00～20：00

II. 開催場所：

(1) 対面会場

（特活）日本 NPO センター大会議室

東京都千代田区大手町 2 - 2 - 1 新大手町ビル B116 地下 1 階会議室

<https://www.jnpoc.ne.jp/about/access/>

(2) オンライン会場

Zoom (<https://zoom.us/>) 利用したオンライン開催、以下の URL による

<https://us06web.zoom.us/j/87231912346?pwd=AXaabQYSguttTD6l2bU9Jg7K5sqQJm.1>

III. 出席者（出席 18 名、委任状提出 7 名、合わせて 25 名出席、対面出席は下線）

理事：石田理事、稲葉理事、内田理事、大西理事、川中理事、菊池理事、岸本理事、小嶋理事、小田切理事、佐藤理事、菅野理事、瀬上理事、田辺理事、筒井理事、戸川理事、永井理事、中嶋理事、新川理事、西出理事、長谷川理事、松本理事、八木橋理事、吉岡理事、李理事、脇坂理事

（うち委任状 7 名：大西理事、小嶋理事、小田切理事、菅野理事、戸川理事、八木橋理事、李理事）

監事：出席：今村監事、委任状：國見監事

事務局：日本 NPO センター

IV. 理事会成立、進行、議事録署名人の確認

・理事会の成立の確認

会則第 26 条の定めにより、理事 25 名中、委任状提出 7 名を含め理事 25 名が出席しており、本理事会が成立していることが確認された。

・議長の確認

会則第 25 条及び正副会長選定規程第 3 条の定めにより、石田会長（第 13 期会長）が議長を務めることが確認された。

・議事録署名人の選出

会則第 26 条第 3 項に基づき、議事録署名人として、岸本理事、瀬上理事が選出された。

V. 議題

議題、議案については別添の理事会案内、配布資料を参照のこと。

<審議事項>

第1号議案 入会希望者の承認について

石田会長から第1号議案資料に沿って説明があった。

第1号議案は、全員一致で承認された。

第2号議案 2024年度決算報告案について

石田会長から第2号議案資料に沿って説明があった。

<Q&A>

・委託費はどのようなものがあるか。また事業費と管理費とで、委託費をどのように分けているか。

→事業費の管理費は、主に日本NPOセンターへの事務局委託、学会誌の査読委託、大会運営委託、託児委託など。管理費の委託費は、税理士委託、会員システム管理運用委託などである。

・未収金がないようだが、会費の未入金分は未収金扱いとはしないのか。

→NPOの会費については、確実に入ることが約束されているものは計上するけれど、回収できなかったものは未収金には上げないということでやられていると思う。ただ、経理の連続性があるため、過去の経理の担当者にも確認してもらいたいだろう。

→顧問税理士にも相談してみたい。

・正味財産がかなりの金額となっているが、ここまでの額になった理由と、どのように活用していくかをご説明いただきたい。

→正味財産が増えたのは、コロナ禍において理事会や大会が対面からオンライン開催になったこと、学会誌の発行回数が少ない年があったことなどにより、繰越額が多い年度が続いたためである。

今後は、まだあまり具体化できていないが、学会員の研究や活動の活性化の環境づくりに活用したい。今年の研究大会の海外ゲスト招へいもその一つである。

・学会として、正味財産の活用について、中期計画などあったら教えていただきたい。

→現在、中期計画はないが、これまでの理事会でも検討したらどうかという意見はあった。理事会の任期が1期2年というなかで中期計画をつくる是非や、一方で考え方の方向性があったほうが次の理事会も動きやすいなど、さまざまな考え方があるだろうと思うので、検討の進め方など、ご意見があったら寄せていただきたい。

今村監事から、監査報告書に基づき、2024 年度決算について監事監査を行ったところ適切に運営されていた、との監査講評があった。

第 2 号議案は、全員一致で承認された。

第 3 号議案 2024 年度事業報告案について

石田会長から、第 3 号議案資料に沿って説明があった。

<Q&A>

・研究倫理について検討を行ったとのことだが、どのような内容だったのか。

→編集委員会において、学会誌の投稿規程に関し、研究倫理の検討を行った。例えば、ディスカッションペーパーへの投稿と論文掲載の関係など。学問分野によっても運用が異なるため、結論としては、投稿論文ごとに編集委員会が 1 件ずつ確認することとなった。

→関連して情報提供したい。今回の研究大会において、研究倫理上の懸念がある報告で発表者と調整したものがあつた。修正のうえ発表にいたつたが、「研究倫理にかかる責任の帰属は研究者に帰属する」という注意を通達した。

第 3 号議案は、一部の誤字を訂正のうえ、全員一致で承認された。

<報告事項>

1. 執行部報告について

石田会長から報告 1 資料に沿って説明があつた。

2. 学会賞選考委員会報告について

新川学会賞選考委員長から報告 2 資料に沿って説明があつた。

3. 退会者について

石田会長から報告 3 資料に沿って説明があつた。

4. 編集委員会報告について

石田会長から報告 4 資料に沿って説明があつた。

5. 組織運営委員会報告について

菊池組織運営委員長から説明があつた。

6. 大会運営委員会報告について

中嶋大会運営委員長から説明があった。

以上をもって議案の審議等をすべて終了したので、20時に議長は閉会を宣言し解散した。

以上

上記、この議事録が正確であることを証する。

2025年 7月 8日

議 長 石 田 祐

議事録署名人 岸 本 幸 子

議事録署名人 瀬 上 倫 弘